

一般質問

◎ 新型コロナウイルス感染症への町の対策を聞く



服部久子

1. 池田町中小企業経済対策支援事業補助金（以降、支援事業補助金）はすべての事業者に支給を。

【質問】支援事業補助金（一事業所10万円給付）は、町商工会加盟が対象要件となっている。同事業の財源は国の交付金であり、商工会に加盟されていない事業所が補助金支給対象外となっており、不公平である。

町の責任で、商工会に加盟していない事業所にも補助金給付を。

《産業振興課長》町はスピード感を持った対応が求められたので、商工会加盟を支給要件とした。国の第2次補正が成立したので、国交付金の対象事業となるかを確認し、活用できるかを研究する。

2. 特別定額給付金について高齢者への申請支援を。

【質問】町民一人一律10万円の特別定額給付金は町への申請により給付される。高齢者には申請書類の作成に不慣れな方がおられるので、申請できるよう町の援助を求める。

《健康福祉課長》申請が困難な世帯には、保健センターや地域包括センターの職員が電話や訪問を行い、申請できるよう援助する。

3. 国民健康保険短期保険証の未交付者すべてに交付を。

【質問】新型コロナ感染症で大変な時期であるが、医者にかかるのに必要な国民健康保険短期保険証を持っておられない方がいる。すべての保険証未交付者に保険証の交付を。

《総務課長》短期保険証は滞納相談の機会を確保するために交付している。納付が困難な場合でも、役場にお出でいただければ事情を聴いて交付している。

4. 生活支援になるコロナ対策を。

【質問】新型コロナ支援策として、近隣市村は、水道料の基本料金の減免などを実施している。町も全ての町民や子育て支援が対象となる生活支援策を検討できないか。

《建設水道課長》国の第2次補正予算で水道料金減免措置を盛り込めるか検討する。

【服部】国の第2次交付金ですべての町民を対象とする生活支援策を求める。

5. 大北5市町村でPCR検査の拡充を。

【質問】県は6月8日に市立大町総合病院に新型コロナ検査センターを設置した。新型コロナ感染の第2波が来る前に、保育園、小中学校、介護施設など集団感染の恐れがある施設を対象に、PCR検査を実施できないか。

《健康福祉課長》臨床検査技師が不足しており、多くのPCR検査を実施することは困難である。



写真 新型コロナ検査センターが設置された大町市立総合病院

【質問】抗原検査、抗体検査は比較的簡単と聞いている。町民の安心が確保できるよう、これらの検査の実施を町長から大北4市村の首長に提案を。

《町長》検査体制の不備により集団検査の実施は困難と考えるが、可能性を探ってみたい。

6. コロナ対策を重点にした予算組み替えを。

【質問】令和2年度の予算はコロナ感染症が拡大していない2月に組まれたので、コロナ対応予算が組まれていない。ハープセンターガラス温室の改修や外国人旅行者誘致事業などは先延ばしとし、コロナ対策に重点を置いた予算組み替えができないか。

《企画政策課長》ハープセンターガラス温室改修事業は「花とハープの里」事業の拠点施設であり予定どおり実施する。この事業は公共施設整備基金を充当し、工事費は国補助金の導入も検討している。外国人旅行者誘致事業は新型コロナ感染症で中止する可能性もある。

一般質問

1. 新型コロナウイルス感染対策に対応した避難所対策を。



うすい孝彦

【質問1】新型コロナウイルス感染対策に対応した「避難所運営マニュアル」に改訂し、自主防災会役員を対象にした学習会の開催を。

《総務課長》町は6月12日に「避難所運営マニュアル」を改訂し、町のホームページに登載した。自主防災会役員を対象にした学習会は11月の避難所運営訓練のなかで行う。

【質問2】災害時、避難所の三密を防ぐため「分散避難（避難所、知人宅、在宅、車など）」の勧めを。

《総務課長》広報7月号で知らせていく。

【質問3】台風襲来などに対し、時系列で何時どんな準備をし、どこへ避難するかなどを記載する「マイタイムライン」を各家庭にご記入いただく取り組みのなかで、指定避難所への避難を希望する方の把握を。

《総務課長》マイタイムライン作成のなかで、指定避難所への避難を希望する方を把握していく。なお現時点での新型コロナ感染対応の指定避難所受け入れ可能な人数は約3,000人である。

【質問4】避難所環境を改善するため段ボールベッドかエアベッドの導入を。

《総務課長》組立や収納の簡便さから、エアベッドを導入していく。

2. 高瀬川の洪水防止対策の強化を。

【質問1】高瀬川の堤防強化を。特に、高瀬大橋下流の雪捨て場から豊町堤防にかけて堤防高水敷が深く削られており危険である（写真）。また、内鎌マレットゴルフ場上流も高水敷が削られており危険である。これらを含む「重要水防区域」の堤防強化を県に要望を。

《建設水道課長》県は今後も高瀬川の河床整備などを行うとしている。今後も、「重要水防区域」の堤防強化を県に要望していく。



写真 高瀬川豊町堤防の高水敷（深くけずられている）

【質問2】大町建設事務所の調査から、高瀬橋の水位が4m以上になると内鎌霞堤から溢水する（あふれ出る）可能性がある。対策を県に要望を。

《建設水道課長》高瀬川は急流河川なので河床整理などにより流下能力の向上が溢水対策に効果的であり、掘削土砂は堤防側に寄せる河川内整備の促進を県に要望していく。

3. 財政調整基金が少ないなかで、来年度の一般会計予算編成をどう進めるのか？

【質問1】町はここ数年、一般会計予算に財政調整基金を繰り入れて来たため、本年度末の財政調整基金は少なくなった（現在、1億円程度）。来年度の一般会計予算編成をどう進めるか。

《企画政策課長》6月～7月に全事業の見直しを行う。8月をめどに方向付けをし、議会に相談したい。

【質問2】町民の皆さん・議会でも検討できるよう予算事業のチェックシート（事業項目・予算額などを記載したシート）の公開を。

《町長》庁内で検討し、方向付けができれば、町民の皆さまのお知恵もお借りたい。

【質問】チェックシートは公開するのか。

《企画政策課長》チェックシートはいずれかの形で示したい。